

令和7年度 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅰ 単位数：2

対象学年：第1学年

使用教材	教科書：	MOUSA 1（教育芸術社）
	補助教材：	教員作成プリント

教科（芸術）の目標

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目（音楽Ⅰ）の目標

【知識及び技能】	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性などについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
		歌唱	楽器	創作						
単元	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方の技能を身に付ける	発声法				・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方の技能を身に付けている				
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	秋歌、黄をくさい等					音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫しようとしている	○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
単元	他者と協働しながら演奏しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・音価・リズムを正確に理解する ・曲想と手拍子や足踏みなどの音色や奏法との関わりについて理解する ・創意工夫を促した表現をするために必要な演奏技術を身に付ける	音価、リズム				・音価・リズムを正確に理解している ・曲想と手拍子や足踏みなどの音色や奏法との関わりについて理解している ・創意工夫を促した表現をするために必要な演奏技術を身に付けている				
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
音色、リズム、速度、強弱、形式、構成などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	Plymouth Rock等		○			音色、リズム、速度、強弱、形式、構成などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫しようとしている	○	○	○	8
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
単元	音楽を形づくる要素に着目して鑑賞しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解する	音楽を分析的に鑑賞する力				・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解する				
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	船物の案内音等					音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	○		○	4
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む				
単元	表現を工夫してギターを演奏しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解する ・曲にふさわしい奏法、体の使い方の技能を身に付ける	クラシックギターの奏法				・曲想とリーダーの音色や奏法との関わりについて理解している ・曲にふさわしい奏法、体の使い方の技能を身に付けている				
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	音階練習等		○			音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫しようとしている	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌唱	演奏	創作						
2 学 期	単元 表現を工夫してギターを演奏しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				8
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解する ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身に付ける	クラシックギターの奏法					・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解している ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫する	見上げてごらん夜の星を等		○			音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫しようとしている	○	○	○	
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる				
	単元 様々な言語の歌を取おう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				10
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける	発声法、詩と旋律の関係					・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫する	O sole mio, Caro mio ben等		○			音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫しようとしている	○	○	○	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる					
単元 ピアノのよさを味わおう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				4	
知識及び技能	指導事項					知識・技能					
・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解する	ピアノの歴史、ピアノの表現					・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解している ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身に付けている					
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現					
音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感じながら曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	音階練習等				○	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫しようとしている	○	○	○		
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる					
単元 合唱で声の重なりを味わおう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				6	
知識及び技能	指導事項					知識・技能					
・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける	合唱の基礎、声の響き					・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている					
思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現					
音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫する	2部合唱、3部合唱				○	音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫しようとしている	○	○	○		
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組もうとしている	模範演奏の提示					主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる					

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	記号時数
			歌唱	器楽	創作						
3 学 期	単元 合唱で声の重なりを味わおう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方の技術を身に付ける ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける	合唱の基礎、声の響き					・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方の技術を身に付けている ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	2部合唱、3部合唱					音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫しようとしている				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度								
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組もうとしている	模範演奏の提示	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる								
	単元 日本の音楽に親しもう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解する	事の奏法、日本音楽のよさ					・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解している				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現									
日本音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解するとともに等の奏法を踏まえた旋律をつくる	西洋音楽の流れ	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら曲や奏法に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや楽しさを自ら味わって聴こうとしている									
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度									
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	映像資料の提示	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる									
合計											70